

シヤチハタ株式会社

2025 年 4 月 21 日

攻めの経営に向けた新たな DX ソリューション

SDX プラットフォームから

「帳票管理」提供開始

～ファイルの使い勝手はそのままに、自由度の高いデータ活用で課題を可視化～

アナログとデジタルの両面から企業の持続的成長を支援するシヤチハタ株式会社※（代表取締役社長 舟橋 正剛 本社：愛知県名古屋市）は、この度、バックオフィス DX ツールである「Shachihata Cloud」と、データ連携、データ可視化を実現するサービス「Smartec Vision」を組み合わせたソリューション「SDX プラットフォーム」の第一弾として、「帳票管理」の提供を 2025 年 4 月 21 日（月）より開始します。

※社名表記は「シヤチハタ」ではなく「シヤチハタ」です。

Shachihata Cloud × Smartec Vision

SDX PLATFORM

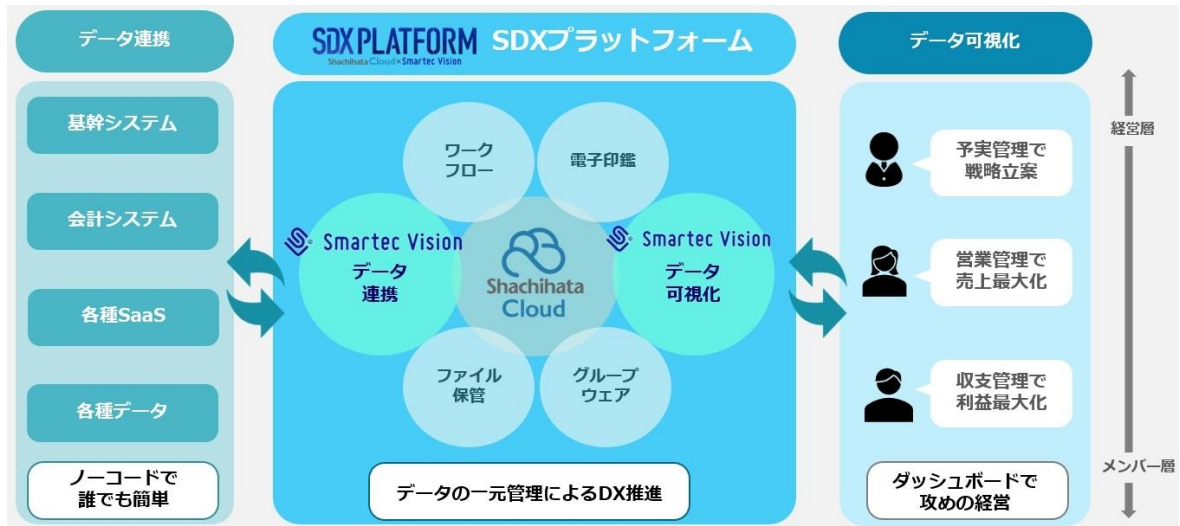
デジタル化を次のステージへ。

● 「SDX プラットフォーム」について

近年、企業の DX 化は単なる業務効率化の手段を超え、競争力の源泉として経営の根幹を支える重要な要素となっています。しかし、日本企業の多くが DX 推進の過程で「IT 人材の不足」「レガシーシステムのブラックボックス化」「データ活用の遅れ」といった課題に直面しており、特に中小企業においては、導入コストやノウハウ不足が壁となり、十分に取り組めていないのが現状です。

シヤチハタは、2020 年に契約・承認プロセスのデジタル化を推進する Shachihata Cloud をローンチし、2024 年には企業のデータ活用を強化し、企業の意思決定の高度化と生産性向上を支援する Smartec Vision をローンチしました。そして今回、企業の多様化するニーズに応え、DX 推進をよりスムーズかつ効果的に実現するため、「Shachihata Cloud」と「Smartec Vision」の強みを融合させた「SDX プラットフォーム」が誕生しました。

SDX プラットフォームでは、実際の運用に合わせた自由度の高いカスタマイズが可能です。Shachihata Cloud のワークフロー機能やバックオフィス機能、Smartec Vision のデータ連携やデータ可視化、これらを統合的に活用できるだけでなく、すべてのデータを一元管理することが可能になります。



●SDX プラットフォーム「帳票管理」について

SDX プラットフォームのシリーズ第一弾である「帳票管理」は、業務プロセス毎のデータをシームレスに一元管理し、プロセス毎に用途に応じたデータの可視化や帳票出力などが可能となるサービスです。業務にフィットしたカスタマイズが可能であり、従来表計算ソフトで行っていた入力や集計作業から解放されます。

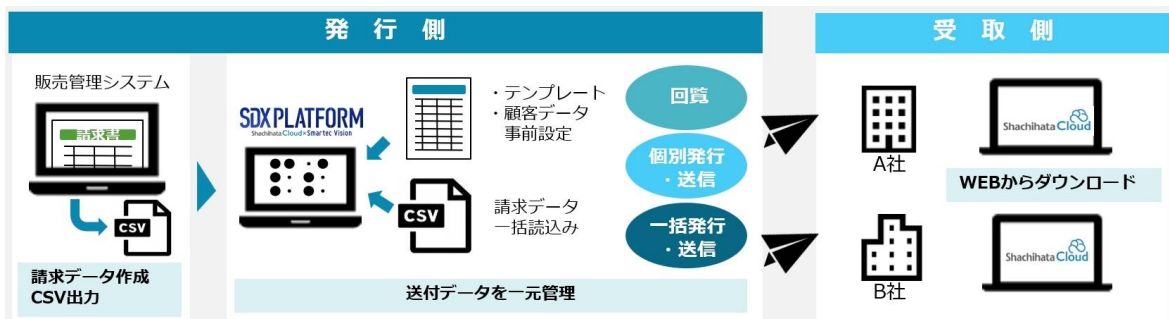
請求業務においては、請求書の発行から送付データの管理、受取側の状況可視化までを一元化できるようになることで、請求書にまつわる煩雑な作業や労力、時間を確認作業に充てることができるようになり、ミスの防止や低減にも繋がります。請求書の受取側は費用負担 0 円でいつでも何度でも WEB からダウンロードができるようになります。

各種帳票（領収書、納品書、明細書など）についても、テンプレート作成～一括発行～データ一元管理まで一括対応が可能です。

「帳票管理」導入により、郵送関連のコスト削減や作業時間といった人件費の削減も実現します。

価格は、初期費用（システム導入）で 11 万円（税込）から。お客様の運用に合わせ、セミナーで業務にフィットするサービスを提供します。

<請求書発行イメージ>



シヤチハタは、IT の進化と歩みを共にしながら多様な価値を提供し続け、今年、創業 100 周年、デジタル事業は 30 周年という節目を迎えます。常に時代のニーズに即したサービスを継続的に提供し続けてきたシヤチハタは、「SDX プラットフォーム」の展開を新たな一手に、次の 100 年も企業のニーズに応え続けます。

●SDX プラットフォーム ご紹介サイト

https://dstmp.shachihata.co.jp/sdx_platform

※掲載されている製品名はそれぞれの会社の製品もしくは登録商標です。

●Shachihata Cloud について

<https://dstmp.shachihata.co.jp/>

Shachihata Cloud は、リモートワーク時代のバックオフィスデジタル化サービスです。稟議書や申請書といった社内文書から、見積書や請求書、注文／請書等の取引先との決裁文書までさまざまな文書の押印業務をデジタル化し、時間や場所を問わず簡単かつ安全に電子印鑑・電子署名を行うことができます。他にもワークフローやグループウェアなどのツール、さらには電子帳簿保存法にも対応しています。Shachihata Cloud は、これからも「SDX プラットフォーム」の思想の元に、バックオフィスデジタル化をファイルとデータのオールインワンで支援していきます。シャチハタは電子印鑑システムの市場展開を 1995 年より行っており、導入数は 2025 年 2 月時点で 110 万件を突破しています。

【参考】シャチハタクラウドのあゆみ

<https://dstmp.shachihata.co.jp/products/history/>

●シャチハタ株式会社 会社概要

シャチハタは、1925 年の創業以来、常にお客様に必要とされる商品を提供し、今年 2025 年、おかげさまで創業 100 周年を迎えることができました。これはお客様をはじめ、関係者各位からのご支援の賜物だと感じています。これからもアナログとデジタルの両面から企業の持続的成長を支援する企業として、次の 100 年もお客様と社会に役立つ新しい「しるしの価値」の開発に取り組んでまいります。

社 名：シャチハタ株式会社

創 業：1925 年 1 月

年 商：単体 176 億円（2024 年 6 月期）

従業員：単体 384 名（2024 年 6 月末現在）

代表者：代表取締役社長 舟橋 正剛

事業内容：スタンプ台、インキ浸透印及び文具全般の製造・販売、デジタルサービス

【参考】シャチハタのあゆみ：

<https://company.shachihata.co.jp/company/kaisha/k7.php>

<サービスの内容に関するお問い合わせ先>

シャチハタ 電子印鑑システム担当

mail：shachihatacloud-press@shachihata.com